

## 県水送水管耐震化事業（2系統化）

### 野々市市末松～金沢市大河端町間の供用開始について

県では、手取川ダムを水源として、県民のみなさまに安全で安心できるおいしい水を供給するため水道用水供給事業を行っています。

平成19年に発生した能登半島地震を契機に、災害時にも安定して水道水を供給するため、平成22年度より既設の送水管とは別ルートで耐震性の高い送水管を整備し、耐震化（2系統化）を進めています。

今回、野々市市末松～金沢市大河端町間について、11月12日に供用を開始し、当日は、野々市市末松地内において、供用を開始するために送水管のバルブ操作を行いますので、お知らせいたします。

#### 【供用区間概要】

供用区間： 野々市市末松～金沢市大河端町

延 長： 約15km

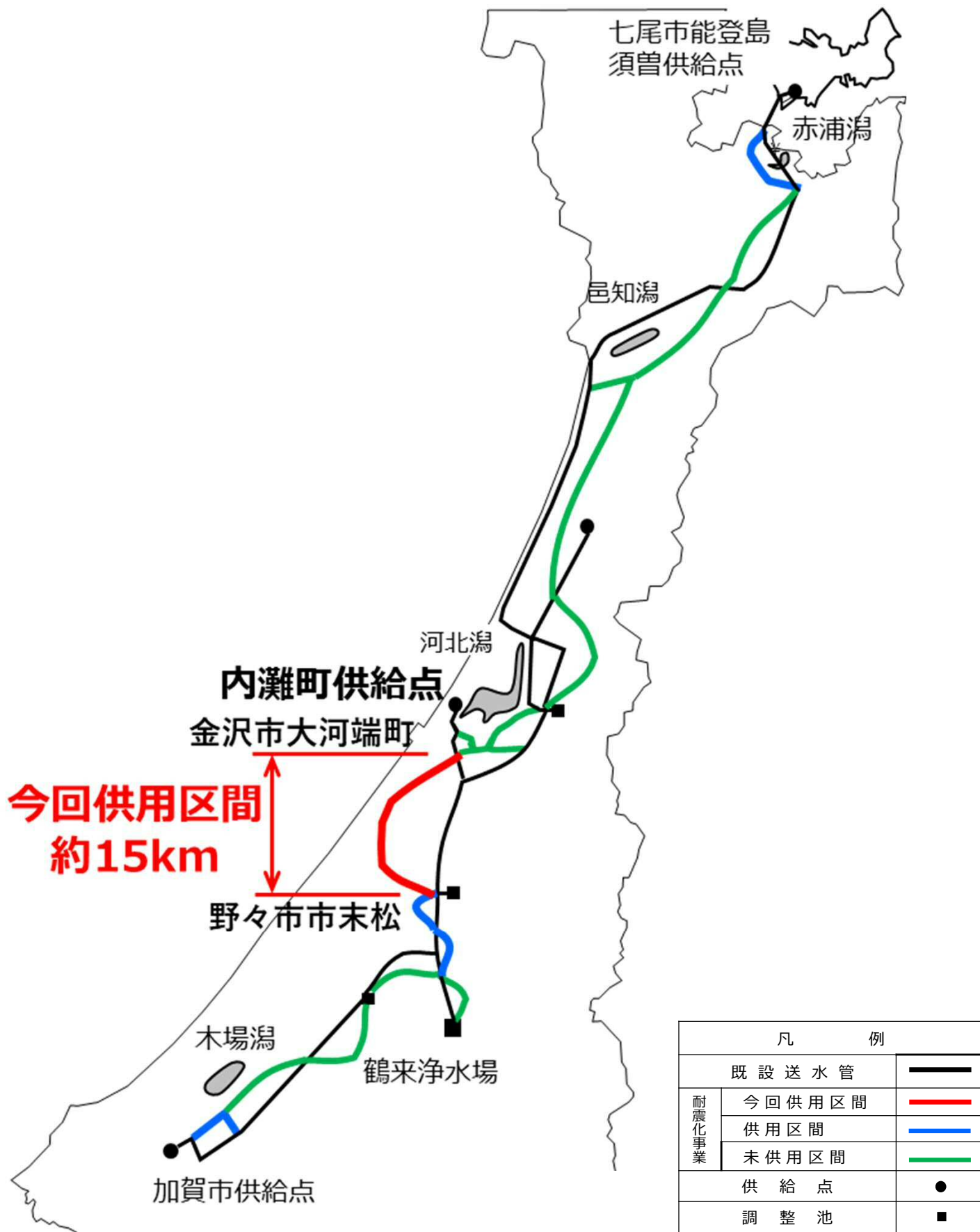
口 径： 900mm

供用日時： 令和6年11月12日（火） 16時（予定）

※ 現地で取材をお受けします。

# 県水送水管耐震化事業（2系統化）

野々市市末松～金沢市大河端町間の供用を開始します。



- ・ 供用開始日：令和6年11月12日
- ・ 供用区間：野々市市末松～金沢市大河端町
- ・ 供用延長：約15km
- ・ 送水管口径：900mm

# 供用開始概要(野々市市末松から金沢市大河端町間)



## 供用開始作業について

・野々市市末松地内の新設送水管バルブ「開」操作

操作開始時刻：令和6年11月12日(火) 16:00

↓  
供用開始

供用開始作業場所

## 拡大図



## 新設送水管バルブ「開」操作(野々市市末松)

新設送水管バルブ(マンホール内で操作)



バルブ操作イメージ



内空高 1.1m  
幅 2.3m×2.5m

※マンホール内は衣服等が汚れる可能性があります